

自治体初!? まちの色を活用した魅力発信事業

【地域色】浄土ヶ浜エターナルグリーン
を活用した、宮古市ファンの獲得!

宮古市企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト



(プロジェクトの概要)

2021年11月、まちの新たな取り組みとして、浄土ヶ浜の海の色をイメージした「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を宮古市の地域色(ブランドカラー)として定め、【色】を活用したシティプロモーションに着手しました。

色の募集や選定は市民や浄土ヶ浜の事業者が参画して行われ、市民投票では、浄土ヶ浜の輝く海や松・海・白い岩のコントラストを想起する「エメラルドグリーン」が最も票を集め、宮古市と一般社団法人日本地域色協会ではブランディング化を図りました。

宮古市では、2022年7月に運航を開始した遊覧船「宮古うみねこ丸」の船体カラーや広報紙の刷色に使用し、活用を進めています。「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を用いたPRや商品の販売を進めることにより、岩手県宮古市の魅力を広く周知し、関係人口の創出・拡大に繋がります。



(事業の具体的な内容)

▶ 浄土ヶ浜エターナルグリーンを活用したPR事業

地域色「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を活用して宮古市の魅力を発信します。



▶ 「宮古市いいイロ百貨」の運用

「みやこのモノ・ヒト」を発信し、宮古市を盛り上げ、応援するサイト。「浄土ヶ浜エターナルグリーン」を活用した宮古市の最新情報や商品を掲載しています。



(事業費)

666万円

(寄附目標額)

100万円

(企業の皆様へのメッセージ)

東日本大震災や台風での被災を乗り越えて、2021年から地域資源を「色」と「物語」で表現し、全国へ発信していく取り組みを開始しました。色を活用したシティプロモーションの取り組みは、全国的にも珍しく、まちの地域色(ブランドカラー)を決定したのは岩手県宮古市が初めてです！

この事業を通じて、宮古市の魅力を広く発信し、関係人口の増加・拡大、地域産業の活性化を図ります。

本州最東端のまち「宮古市」の新たな取り組みにぜひご支援くださいますようお願いいたします。